

コミュニティ・スクール新聞

発行所 藤枝
中学校区
学校運営協
議会 事務局

第2回学校運営協議会



コミュニティ・スクールとしての今年度の経過報告(コミュニティ・スクール新聞26号〜30号を見ながら)

・小中4校の学校運営協議会各部会での協議内容についての報告
・大祭りや子ども神輿についての報告
・2周年を迎えたにこにこあいさつ運動についての報告

・藤枝中学校中庭の整備状況についての報告

地域連携を中心に各校校長から追加説明

【稲葉小学校】

・高齢者との交流など福祉活動が盛んに行われている。

・田植えや稲刈りなど地域の方々から協力の申し入れがあるなど、地域と学校の理想的な連携がとれている。

11月7日(火)、稲葉小学校を会場に藤枝中学校区第2回学校運営協議会が開催されました。16名の全委員参加の下、様々な視点から協議がなされました。

小中一貫教育合同研修会の実施など具体的な取組の説明

藤枝中学校区小中

一貫教育全体構想図を使って会場校の杉村教頭から説明がありました。

藤相鉄道唱歌

『田中城趾を後に』

見て、早くも着きし慶全寺、ここに名高き青池は、遠州佐倉の池続き

乗り降り繁き岡

出山、右の方には名にしあう、飽波神社は神寂びて、神々しくもあらたなり

大正2年に大手

藤枝新まで開通

した軽便鉄道。その

後駅の数を増やし

ながら発展しました

が、昭和11年の岡

部、大手間の廃止

コラム

を契機に廃止が続き、昭和45年に全線廃止になりました。前述の詩は駅毎に作られた軽便鉄道の歌の一部です。当時の情景が目には浮かぶようです。街の景色や、そこに住む人々は変わっても、このようにして残っている街の記憶を大切にすることが文化なのではないでしょうか。尚、歌詞は全部で41番まであります。

【藤枝中央小学校】
・大祭りには多くの児童が参加し地域との触れ合いが進んだ。
・インフルエンザの流行期に当たりPTC大会が中止になってしまったのは残念だった。

【藤枝小学校】

・学校周辺の地域資源の活用について(商店街での買い物体験や蓮華寺池公園での募金など)。

・ボランティアグループについて(読み聞かせや清掃クラブについて)

【藤枝中学校】

・中庭の整備状況について(スクールサポーターズクラブの方々の協力やアサギマダラ飛来についてなど)

・藤枝大祭りの役割について(2年生を中心に祭りについて授業で取り扱ったが、今後は全校をあげてすすめていきたい)。

意見交換

・学校運営協議会のビジョンは素晴らしいが、どうやって一般に落とし込むかが課題である。

・子ども神輿については、PTA地区長は非常にきつい。最終的には、大祭りにつながる人材育成として捉えたい。運営主体をどこにするのかを見直さないと存続は難しい。

・DX、AI、少子高齢化に合わせて、仕組みとして変革の時を迎えている。

教育界の現状・動向などコミュニティ・スクールについて

静岡大学教授で本学校運営協議会の委員でもある梅澤収委員から富山県南砺

市の実例を参考資料として説明がありました。

第2回小中一貫教育合同研修会



11月15日(水)、藤枝中学校を会場に今年度2回目の小中一貫教育合同研修会が開催されました。当日は、中学校の授業参観や、4校6分科会を通して、小中一貫教育全体構想図の共通事項についての実践の成果を協議しました。また、令和6年度に向けて共通実践の具体と目標を検討しました。尚、設置された分科会は以下の通りです。

- ・生徒指導部
- ・研修部
- ・特別活動部
- ・特別支援教育部
- ・総合／教務部
- ・小中連携部

